

第24回弘大食料研サイエンスカフェ

研究者を増やすには

～ 研究意欲と研究不正 ～

「弘大食料研サイエンスカフェ」は、
弘前大学地域戦略研究所食料科学研究部門に所属する
教員や関連の研究者が話題を提供しつつ、
皆さんと食品研究など身近な科学について語り合う場です。
研究者と参加者が同じテーブルでコーヒーを片手に、
気軽にトークを楽しみながら科学に
親しんでいただくのが目的です。

第24回は話題提供者に
東北大学大学院生命科学研究科の
大坪嘉行(おおつぼ・よしゆき)先生をお招きして、
日本の科学研究が直面する問題について
世話人中井との初の対談形式で開催します。
いつもと毛色は異なりますが、
参加者の皆さんも交えて
ざっくばらんにお話しできればと思います。

3/15 14時00分
|
15時30分
(土)

地域交流カフェ
cafe & space ivy
(青森市沖館4丁目7番16号)



STAP細胞事件を覚えていらっしゃいますか？

論文がNatureに発表されたのが2014年1月末、約11年前でした。
その後、結果が再現できないとして問題になり、
最終的には論文は撤回されました。

今回のサイエンスカフェでは、
こういった研究不正が起こる背景を考えるとともに、
どうしたら研究不正を防ぐことができるのか、
そして、若い人、高校生や大学生の
研究意欲を育てるためには何ができるのか、
ちょっと大きなテーマですが、
科学研究の未来について
みなさんと考えてみたいと思います。



中井 雄治 (なかい ゆうじ)

弘前大学地域戦略研究所食料科学研究部門 教授

1996年3月、
東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程終了後、
約4年半のポストドクを経て2000年8月、
金沢大学薬学部助手となる。
2005年3月、東京大学大学院農学生命科学研究科特任助教授、
同特任准教授を経て2014年3月弘前大学食料科学研究所教授、
2018年4月改組により現職。
専門は食品の機能性研究。
りんごと煮干しラーメンをこよなく愛する。



大坪 嘉行 (おおつぼ よしゆき)

東北大学大学院生命科学研究科 准教授

2001年3月、
東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。
理化学研究所にて2年間ポストドクをしたのち、
東北大学助手、助教を経て2017年より現職。
専門は、
環境汚染物質分解細菌の遺伝学的、
分子生物学的研究など。
日本の教育力と研究力を向上させようとして取り組んでいる。
著書「日本の研究力低迷問題の原因と解決方法」
「大学で学べる科学的素養」。ホヤとパクチーが好き。



2025年3月15日(土)14時00分～15時30分

開催方法 ----- 対面(先着15名)

開催場所 ----- 地域交流カフェcafe & space ivy

(青森市沖館4丁目7番16号)

申し込み方法 ----- 右の二次元コードの申し込みフォーム

(URL: <https://forms.office.com/r/JLWj5NKbmr>)からお願いします。

参加費 ----- 無料(飲み物は会場のカフェでご購入ください)

